

馬車問

JRみのぶ線  
フットパスマップ

# みのぶらり

波高島駅 → 下部温泉駅  
2.0kmコース

04

0 M	1430 M	40 M	530 M	波高島駅から下部温泉駅
下部温泉駅	下部ホテル	道祖神	高島分校跡	

**下部温泉駅**

歩いた後は  
下部温泉郷で  
のんびり  
しよう

素足の  
ふるさと  
下部温泉郷

**醍醐山**

醍醐山は標高  
六三四メートル  
だよ

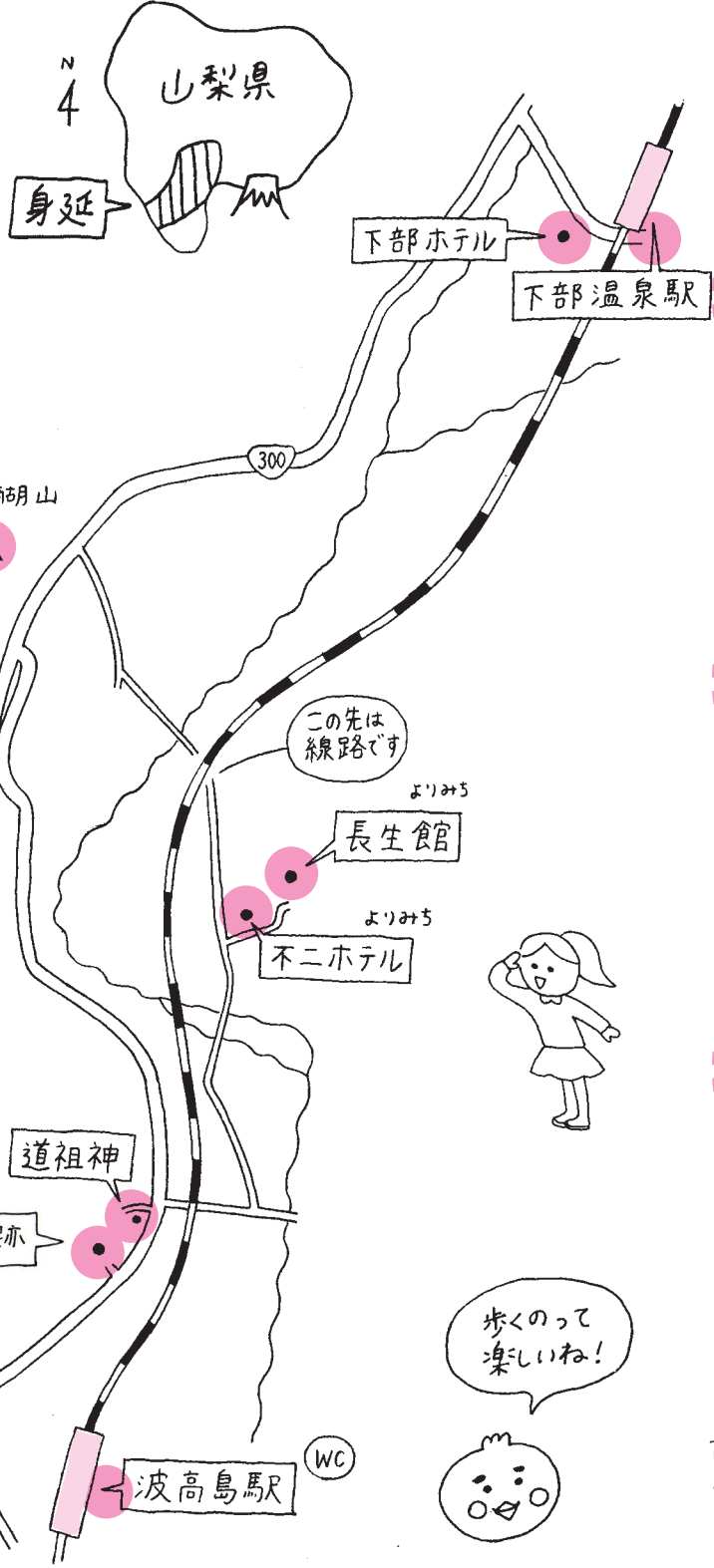
**道祖神**

16花弁の模様  
が入っているよ  
江戸時代に  
つくられたんだ

**高島分校跡**

明治7年に  
設置された  
高島分校跡

校舎や門柱が  
残っているよ



**下部ホテル**

昭和の大スター  
石原裕次郎が  
湯治したんだよ

足湯も  
いいよ

**長生館**

レトロな看板  
が目印だよ

入浴の料は500円  
下部温泉とは  
（単純温泉）とは  
水質が違うんだ

**不二ホテル**

三田村長生馬場

時代考証家  
三田村為魚  
（みたむらえんぎょ）  
の墓の碑が  
あるんだよ

**波高島駅**

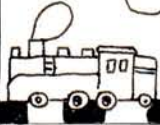
映画「おはん」  
のロケ地

このベンチに  
吉永小百合が  
座ったんだよ

つきあたり  
なへ

歩くのって  
楽しいね!

WC



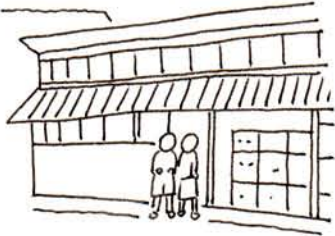
身延線創立に尽力した小野金六は、嘉永五（一八五二）年八月、葦崎で生まれました。



ちぢみに  
六年は  
ペリーが浦加賀  
に来た年  
だよ



家は富屋という造り酒屋兼呉服屋で、代々この地方の名主を勤める旧家でした。



幼少時代は寺子屋に通いながら兄の千万吉を助け家業を手伝い、早くから商才を発揮します。



十五歳になった金六は  
念願の江戸見物へ！

幕末の激しい時代の変化と江戸の広さに驚きます。

そのあと葦崎へ帰り若衆名主に推され、事業への才能をのばすことに！



とある日、信州へ商売に出ているとき養蚕が成功し生き生きしている村の姿がありました。

信州で成功する  
のだから甲州でも  
できないことはない



金六はさっそく  
葦崎へ帰り隣村  
の更科村（現葦崎）の里山を開墾し、桑を育て蚕種を取り寄せると共に多くの技術者も呼び寄せます。



そして呉服屋の二階を開放して掃き立て（はきたて）ます。

掃き立てはうかしたばかりの毛蚕（けご）を新しい蚕座（まんざ）に移し広げることだよ

次に製糸場も建設し、付近の人も新しい産業に意欲をもちはじめ、金六の事業は見事成功します。

「このとき  
まだ十八才  
だったんだよ」



明治六（一八七三）年には大きな志をもって上京。下宿先の主婦が「こんな頭のいい人がもったいない！」と東京府の土木課の職を見つけてくれ、翌日から通いますが三日で辞めてしまいました。

「金六には  
役人は合わな  
かったんだね」

